

学ぼうだよ

第11号

出来る人が・出来る時に・楽しく
子供達が待っています

運動会はたのしかった?

秋ばれの9月13日、運動会がおこなわれました。

みなさんは、かけっこにダンス、マーチングといろいろかつやくしました。

また、お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんもたくさん来ておうえんしてくれました。



れんしゅうもいっぱいしたのでこの日はとてもうまく言ったのではないでしょう。

団たいここのきょうぎでは、上きゅうせいも下きゅうせいもいつしよになっておうえんしているすがたが、とてもいんしようてきでした。

夏休みわくわく活動を開催

今年で四回目となった「夏休みわくわく活動」を七月二十一日から三十一日の期間に十三の活動を開催しました。

今年度は学校行事の関係で八月の開催が出来ず七月に集中してしまい、児童の中には参加しにくかった子もいるようでした。

また、準備不足や講師の不慣れなどもあり、開催途中で流れが滞ってしまったところもありました。

全体としては参加者が七百五十三人ほぼ昨年並みで、作って食べる活動に参加者が集中しましたが、講師の配慮で二回に分けて開催してもらった活動もありました。

活動の紹介をします。
(敬称は略します)

二十一日

ツールペイント

講師 小野里夢美(みなかみ町)

参加者数 三十五人

プランタープレートを作りました。

二十二日

日食観測

講師 星野耕史(薄根町)

参加者数 六十五人

日本では46年ぶりとなった皆既日食。沼田では天気の関係で十分観測できました。

二十二日

おやつ作り

講師 大嶋真知子

参加者数 九十三人

クッキーを作って食べました。

二十二日

校内サバイバル体験 地震体験車



講師 中央消防署職員および中澤勝

参加者数 百二人

県内には一台という地震体験車を使い震度六という強烈な揺れを体験しました。

二十三日

ビーズでストラップ作り

講師 戸部君枝(西原新町)

参加者数 二十七人

ビーズを使って携帯ストラップ

プを作りました。

二十四日

米粉でピザを作ろう

講師 J・A利根沼田職員

参加者数 四十九人

米の粉を使った本格的なピザ作りに挑戦しました。大変うまくでき、あつという間にお腹に収まりました。

二十四日

ヨガをしよう

講師 津久井さと美(東原新町)

参加者数 二十六人

ゆったりとした時間の中で体の隅々までパワーを送り込みました。

二十四日

プラネタリウム

講師 利根沼田文化会館

参加者数 百二十一人

夏の星座を勉強しました。

二十七日

尾瀬の話

講師 角田和男(上原町)

参加者数 十二人

スライドを観ながら尾瀬の動植物を勉強しました。

二十八日

うどん作り

講師 吉沢ヨシ子 他十四名(上原町)

参加者数 百人

水沢の粉を使った本格的なう

どんに挑戦。出来上がったシコシコのうどんは講師が持つてきてくださったてんぷらと共においしく頂きました。

二十九日

お金の働きを知ろう

講師 利根郡信用金庫職員

参加者数 二十四人

日本銀行から届いたばかりの一万円札の束を持たせてもらい児童はニコニコ顔。お金を大切にするぞーと決意を新たにしていました。

三十日

冷たい抹茶を楽しむ

講師 桑寿園

参加者数 七十三人

緑茶・ほうじ茶・抹茶の違った味を楽しみました。抹茶は水と共にポットに入れシャカシャカ振って冷たくして飲みました。

三十一日

車を分解しよう



講師 金子自動車(上原町) 他
群馬県自動車整備振興会
参加者数 三十一人

教材に提供してもらった軽自動車を持ち寄った工具で思い思いに分解しました。一時間半で自動車は見るも無残に。

今回大変お忙しい中、東小学校児童のために体験を考えてくださった方、講師をしてくださった方々に心より御礼を申し上げます。

また、この活動を理解し児童を参加させてくださった保護者の方々にも、合わせて御礼を申し上げます。

夏休みわくわく体験感想

「ツールペイント教室」

小野里夢美

沼田東小学校のボランティア「ツールペイント教室」の講師でお世話になって3回目になりました。

子供たちの中には3回連続で参加してくれて顔見知りになった子もいます。そしてその子供たちが下級生の面倒をみたり、お手伝いをしてくださったりしてとてもスムーズに教室を開くことが出来ました。

同級生同士で話し合いながらお揃いを作る子供さん、自由に自分で表現する子、色選びに考え込んだり絵を考え込んだりと参加した全員スタイルが違うこ

とに気が付きます。

でも、一度始まってしまおうと目をキラキラと輝かせながら一身に描いている姿にはいつも感動させられます。そして出来上がった作品は取れも子供たちの感性がしっかりと出ていてとても素晴らしい作品ばかりです。

大人になるとどうしても人目を気にしてしまい感性を無くしてしまっている自分に気が付くのですが、東小のボランティア活動で私自身が子供たちと一緒に勉強をさせてもらい新鮮な気持ちで後の仕事に打ち込むことが出来ます。

これからも東小の子供たちを始め多くの子供たちの感性を引き出せるお手伝いが出来れば幸いです。

みなかみ町須川地区のたくみの里で「ぬり絵の家」を営んでいます。時間が有りましたら足を向けてください。

学ポフは得意なことで

東小学校PTA会長

中澤 勝

十年前、我が家の長男が三年生で遠足準備の時のこと、担任から「松葉杖を使っているお友達がいいますが戸神山は無理ですかね?」との話に、「本人が行きたいなら連れて行きたいよね」と、友人と有志を集めて「両親や先生方のサポートを受けながら

下見を含め二回山頂に連れて行くことが出来ました。

遠足当日は本人はもちろんご両親もクラスメートも大変喜んでくれました。

私の趣味の山歩きがこんな形でよその子供に役に立つなら、仕事の合間で喜んでもらえるなら・・・。そんな思いで今年も三年生四年生の遠足に参加して楽しませてもらっています。



皆さんも、得意な事を生かして学習ボランティアに参加してみたいかがでしょうか。

ボランティア募集

東小学校学習支援センターでは、次のようにボランティアを募集します。

9月25日(金)

サルビアの種とり

9月29、30日

五年生ミシン教室

10月14日(水) 15時から

クラブ活動の補助

イラスト、切り絵、スポーツ、パソコン、図工・

紙芝居・将棋・バトミントン・手芸・調理

※それぞれの活動で指導を

お願いします。特別な知識は必要ありません。10月下旬から

固定遊具の補修作業

※ 特別な技術は必要ありません。

詳しくは学習ボランティアコーディネーターまでお問い合わせください。

活動報告

九月二、九、十六日

五年生ミシン教室

ボランティアの方です。

吉沢ヨシ子さん(上原町) 中澤文子さん(上原町) 高橋君枝さん(上原町) 小幡文子さん(上原町) 嶋山久美子さん(上原町) 稲垣美智代さん(上原町) 高橋節子さん(上原町)

九月十六日

クラブ活動(将棋)

ボランティアの方です。

岡田好正さん(西原新町) 花茂総司さん(桜町)



気持ちを伝える

最近、言葉を省く傾向が強いと感じませんか。

例えば「大丈夫」。問い掛ける方も掛けられた方も一言で済ませうとしてしまう。本心を伝えたいのか、そうでないのか・・・。気持ちを伝えるのは難しいといわれます。本当にそうでしょうか。実は話す人が難しくしているのです。ましてメールでは短い言葉のやりとりだから、ちよつとした言葉の不足で気持ちが伝わらないことはもちろん相手を傷つけたり不愉快にさせてしまうことがあります。

気持ちを伝える時に大切なことは、しっかりと相対して、いつ、だが、どこで、なにを、どうした、だからどういう気持ちでいる、どうしたいと言っていることを口にすることです。

学習ボランティア地域センター連絡先

沼田東小学校学習支援センター内 電話 23-1118

学習ボランティア担当 小曾根理佳子

学ポラだより 第11号 発行 平成21年9月18日

発行責任者 東小学校学習ボランティアコーディネーター

相良賢一

電話 070-5071-9962

大竹秀子

電話 090-5413-6130